

Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 25 日 (日)

試合時間：15:40～

主審：岩尾 圭治

副審：古後 宏和

日本経済大学	● 58	10	—1st—	13	○ 60	鹿屋体育大学
		18	—2nd—	10		
		21	—3rd—	20		
		9	—4th—	17		

第 1 ピリオド

日経大 #0 ニヤンのシュートで試合開始。すかさず、鹿体大 #25 石山が 3P シュートを決め返す。互いに速い展開で攻めるが、なかなか得点を重ねることが出来ない。先にこの状況を脱したのは鹿体大。#29 宮崎のシュート、#25 石山のレイアップで流れを掴み、得点を重ねる。終盤、日経大はリバウンドから流れを掴み、#5 野中、#7 鄭がシュートを決める。残り 10.0、鹿体大は #43 横川のドライブで得点し、10-13 とリードを守り、第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

日経大 #5 野中のシュートで始まった第 2 ピリオド。#7 鄭もシュートを決め、逆転に成功する。鹿体大は厳しいディフェンスに苦しみ、得点に繋げることが出来ず、残り 6:52 にタイムアウトを請求。タイムアウト後もうまく攻め込むことが出来ない鹿体大。一方、日経大は #0 ニヤンを中心に着実に得点を重ねる。鹿体大は #25 石山バスケットカウント、#6 森山が 3P シュートを決めるも、追いつくことができず、28-23 日経大リードで第 2 ピリオドを終える。

第 3 ピリオド

開始早々、鹿体大 #17 土器手がレイアップシュートを決める。日経大 #9 山崎がフリースローを決め、リードを保つ。日経大はファウルを誘い、鹿体大は点差を縮めることが出来ない。残り 6:23、これ以上点差を離されたくない鹿体大はタイムアウト。その後、鹿体大 #30 深江、#25 石山が 3P シュートを決め、点差を 1 桁に乗せると、日経大はタイムアウトを請求。タイムアウトが明けると、点の取り合いとなる。終了間際、鹿体大 #12 川尻の 3P シュート、#43 横川がバスケットカウントで 6 点差に迫り、49-43 で第 3 ピリオド終了。

第 4 ピリオド

鹿体大 #25 石山のレイアップシュートで始まった最終ピリオド。日経大は #7 鄭を中心にシュートを決めるが、その後はお互い得点をする事ができない。均衡状態が続いたが、残り 3 分、鹿体大 #29 宮崎の 3P シュート、#25 のジャンプシュートで 1 ゴール差に迫る。日経大 #5 野中が決め返すが、鹿体大 #25 石山がレイアップシュートを決め、残り 1:18、58-57 となり日経大はタイムアウトを請求。残り 31 秒鹿体大 #17 土器手のシュートでついに逆転。最後に #29 宮崎がフリースローを決め、58-60 で鹿体大が接戦を制した。